

いたばし区文化財 ぶんかざい

ぶどうり れきしざんぽ

とくまる・あかつか



板橋区教育委員会

赤塚エリア



いまとむかし





ぞくじ

ページ
3

とくまる
徳丸にある 300 年前の家 旧粕谷家住宅

ページ
5

とくまる
徳丸エリア

ページ
7

とくまる あかつか
徳丸・赤塚に古くから伝わる祭り・おどり

ページ
11

あかつか
赤塚エリア

とくまる
徳丸にある300年前の家
きゅうかすやけじゅうたく
旧粕谷家住宅

スタンプがあるよ



この家は、
すべて木や草ででき
ています！たてものの
なまは、どんなにおいが
するかな？



やく
とくまる
約300年前の家です。徳丸の村の、もと村長(粕谷さん)が住んでいました。
た
かすや
建てたときから、ずっと同じ場所にあります。

行き方



板橋区徳丸 7-11-1

都営三田線
高島平駅から約15分
東武東上線
東武練馬駅から約20分

国際興業バス
「紅梅小学校」から
徒歩約3分

ここをよく見てみよう

1



だいこくばしら
3本の「大黒柱」

さき
1 屋根を支える大事な柱
だいこくばしら
(新しい家は「大黒柱」は1本)

どこにあるか探ししてみよう！

たてもののなかを見てみよう

あ だいどころ

みずば
かまどや水場があり、
地面が土でできてい
て、そのまま家に入
ることができる。

い ひろま

ゆか
床が板の部屋。
お客様をむかえる。

う おかげ

ご飯を食べる部屋。
いろいろがあり、料理
などを火で温めるこ
とができる。

え

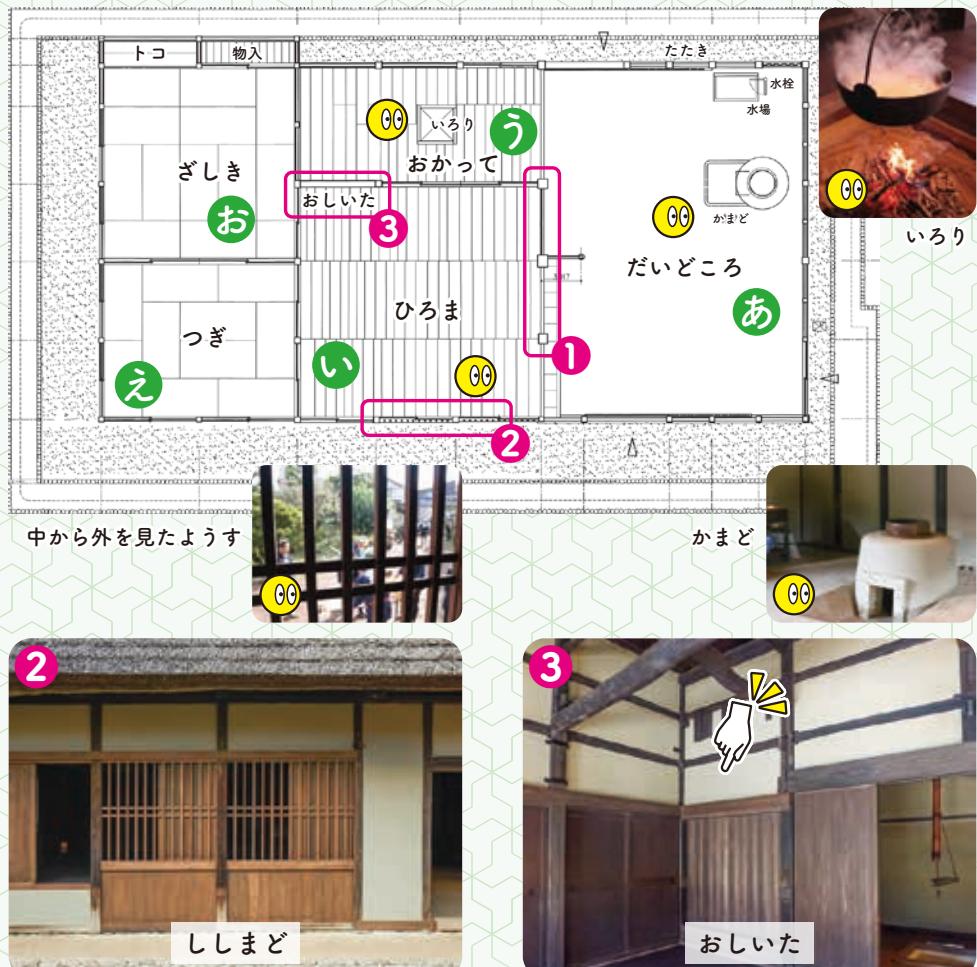
۱۷۷

たたみの部屋。
家族で過ごす。

お

七八

一番奥のたたみの部屋。家の主人が、寝たり休んだりする。



② 細いすきまがあるまど。家の
中から外が見える。

かべ
ふだん
お

③ へこんでいる板の壁。家を守る神様や、神社・お寺のお札を置く、家の大事な場所。

とくまる 徳丸エリア



写真：板橋区立郷土資料館より

今は家や
たてものがたくさん
あるけれど、100年前は
だいこんばたけ
大根畠が広がって
いたよ！

地面の下から
人の家のあと・お墓をはっけん！

とくまるひがしいせき

徳丸東遺跡

みんなさんが暮らしている地面の
下には、むかしの人々が作った道具
が、埋まっている場所があります。
これを、遺跡といいます。

徳丸六丁目にある「徳丸東遺跡」
を、掘って調べました。



はっけんしたときのようす



ねん土を焼いて作った棺桶



むかしの人のなべ

た
板橋区でさいしょに建てられた

こうばい

紅梅小学校

板橋区で一番古い小学校の一つです。2024年に、創立 150 年をむかえました。学校の名まえは、近くにあるお寺「紅梅山安楽寺」からきています。

とくまるむら
はじまりは、徳丸村にあった子どもたちの塾
(寺子屋)でした。むかしの校舎は、徳丸村の人々
が、お金を出し合って建てました。



こうばい
紅梅小学校 (2024 年)

学校のれきしがわかる資料

先生の日記や、古い写真・
教科書など、紅梅小学校の
れきしがわかる資料。

とくに、寺子屋や学校の
れきしを絵でかいた巻き物
は、とても珍しい。

スタンプがあるよ



やく
約 100 年前の先生の日記
(紅梅小学校所蔵)



まき物にかかれた
子どもたちの塾 (寺子屋)



いたばしくりつきょうどげいのうでんしょうかん 板橋区立郷土芸能伝承館

でんとう
板橋区の、伝統のある祭り・おどりを伝えるために建てられました。祭り・お
どりの練習のほか、太鼓やお琴など、文化にふれることができる場所です。



行き方

板橋区徳丸 6-29-13



都営三田線

高島平駅から約 15 分

東武東上線

東武練馬駅から約 20 分



国際興業バス

「紅梅小学校」から

徒歩約 7 分

とくまる あかつか
徳丸・赤塚に古くから伝わる
祭り・おどり

た あそ 板橋の田遊び



徳丸北野神社

行き方



板橋区徳丸 6-34-3



都営三田線
高島平駅から約 15 分
東武東上線
東武練馬駅から約 20 分



国際興業バス
「紅梅小学校」から
徒歩約 7 分



うしお
牛追い (むかしは、機械
がないので、田んぼを耕
すときに動物の力をかり
ていました)

とくまるきた の じんじゃ た あそ 徳丸北野神社田遊び

毎年 2月 11 日の夜が祭りの日です。

とくまるきた の じんじゃ た
徳丸北野神社が建てられたときに、始まったと伝
わっています。1000 年続く祭りです。



早乙女の胴上げ

(子どもや稲の成長を願う)



た うない (おもちで作つ
たくわを持ち、田んぼを
耕すまねをします)



いな 稲むらつみ (さいごは、
祭りで使った道具をつみ
上げます)

人々は、「お米がたくさん実りますように」
と願いをこめて、「田遊び」をはじめました。田んぼがなくなった今でも、祭りが長く続けられています。



田遊びにいったら
ここを見てみよう!

- お米ができるまでの農作業をまねた動き
(田んぼを耕す・田植え・収穫など)
- おもちで作った祭りの道具



赤塚諏訪神社

あかつかす わじんじゃた あそ 赤塚諏訪神社田遊び

毎年 2月 13日の夜が祭りの日です。

神社の中で、田んぼの農作業のまねもしますが、おみこしを持って神社の外へ行ったり来たりします。



こま
駒

(子どもをかごに入れ、成長を願う)



おみこしを持って移動



鼻の長い「てんぐ」がいるよ



「しし」も登場

とくまる あかつか
徳丸・赤塚に古くから伝わる
祭り・おどり

ししまい よ たけ ・四ツ竹おどり



とくまるきたの じんじゃ
徳丸北野神社
ししまい

徳丸のお祭り

5月

5

徳丸北野神社

ししまい

せいちょう
ねが
「悪い病気をよける」「子どもの成長」などを
願って、鹿のような動物「しし」がおどります。



とくまる よ たけおど 徳丸四ツ竹踊り

よ たけ
四ツ竹おどり

かたて
片手に2こずつ、計4つの竹の楽器をもっておどります。
もともとは、盆おどりのひとつとして、人々に広ま



とくちょう

3匹のしし

・めじし (赤)

・大じし (黒・巻き角)

・中じし (黒・まっすぐな角)

赤塚諏訪神社ししまい

赤塚のお祭り

3月

第2
日

曜日

赤塚諏訪神社



だいもん よ たけおど
大門四ツ竹踊り



よ たけ がつき
四ツ竹 楽器

とくちょう

赤・白のかざり

がついた4つ

の竹をもって

おどる

とくまる あかつか
りました。また、むかし、徳丸・赤塚には田んぼ・畑があったので、おどりには農作業の動きが取り入れられています。

あかつか 赤塚エリア



行ったら
このマークを
さがして
みよう！



じょうれんじ
乗蓮寺

東京大仏でも有名。
もともとは、板橋
区役所の近くにあ
りました。



行き方

板橋区赤塚 5-28-3

都営三田線
西高島平駅から約 20 分
東武東上線
下赤塚駅から約 20 分



しうげついんだいどう
松月院大堂

しうげついん 松月院

あかつか
赤塚のあたりをおさめ
ていた武士の千葉一族
た
が建てたお寺です。



しうげついん
松月院のえんま王の像



ちば
武士・千葉氏のお墓
はか
だと伝わっています

行き方



板橋区赤塚 8-4-9



東武東上線
下赤塚駅から約 17 分



国際興業バス
「赤塚八丁目」から
徒歩約 1 分

だいもん い せき

大門遺跡

だいもんいせき

大門遺跡は、新大宮バイパスをつくる場所を掘って調べた遺跡です。2万7000年ほど前から現在までの、人々の生活のあと・お墓が発見されました。



調査をしているときのようす
(1988～1989年)



遺跡を上から見たようす



見つかった石の道具

2万7000年ほど前の人々が、動物をつかまえるときに使った石の道具が見つかっています。石の道具は、ナイフや、矢の先につける「矢じり」として使っていました。



見つかったときのようす

およそ1500年前の人々のお墓には、赤い土を入れたつぼが埋まっていました。

あかつかじょうし
赤塚城址



あかつかじょう
赤塚城は、武士がおさめたといわれるお城で、赤塚五丁目のあたりにありました。今は公園になっていて、お城だったころのようすが残されています。

やかた
城や館は、見晴らしがよく、生活に必要な水が近くに流れる場所を選んでつくられました。城跡の近くにある「不動の滝」では、今もわき水が流れています。

むかしの人の潮干狩り！?
あかつかじょうしがいづか
赤塚城址貝塚

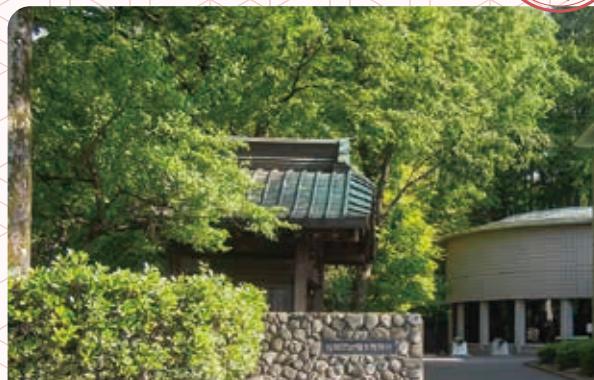
今の高島平・三園のあたりは、かつて海でした。赤塚五丁目では、約3500年前の人が食べてたシジミなどの貝がらが、たくさん見つかりました。この貝がらの山を貝塚といいます。



白いところが貝がら

板橋区のれきしがわかる
いたばしくりつきょうどしりょうかん
板橋区立郷土資料館

スタンプがあるよ



板橋区のれきしについて、知ることができます。地域から見つかり、板橋区に
関係する資料などをみることができます。



行き方

板橋区赤塚 5-35-25



国際興業バス
区立美術館経由高島平操車場
「区立美術館」から
徒歩約1分



9:30～17:00
月曜日休み (月曜日が祝
日のときは翌日が休み)



カメラ

(トプコン RE スーパー・株式会社トプコン)

資料館にあるむかしの家

きゅううたなかけじゅうたく

旧田中家住宅



きゅううかすやけじゅうたく

旧粕谷家住宅とおなじく徳丸村にあった家で、今は資料館にあります。むかしの農家のくらしや、季節のかざりつけを見ることができます。

季節のかざりつけ



ひな祭り



七夕

スタンプを3つ押してみよう!

きゅうかすやけじゅうたく
旧柏谷家住宅 (3 ページ)

押した日
スタンプを

月 日



いたばしくりつきょうどぎいのうでんしおかん
板橋区立郷土芸能伝承館 (6 ページ)

押した日
スタンプを

月 日



スタンプを全部赤つめた記念日

き
ねん
び

月
日



スタンプを
押した日

月
日



いたばしくりつきょうどしりょうかん
板橋区立郷土資料館 (15 ページ)





スマホで
とってね！



いたばし文化財ふれあいウィーク2024

いたばし区文化財

ぶらり れきしさんぽ

とくまる・あつか

発行 板橋区教育委員会

生涯学習課文化財係

印刷 明誠企画株式会社

令和6年11月1日 発行

刊行物番号 R06-85